



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会および期末配当については毎年3月31日 中間配当および株主優待については毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故・その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
(公告掲載アドレス)	http://www.takano-net.co.jp/ir/index.html

【株式に関するお手続きについて】

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
●特別口座から一般口座への振替請求 ●単元未満株式の買取請求 ●氏名・住所等の変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法の指定(※)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) [手続き書類のご請求方法] ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人

(※)特別口座に記録された株式をご所有の株主さまは配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

NAGANO trend 31

江戸時代の町並みが現代に ～木曽 奈良井宿～

当社本社所在地の長野県にある木曽町には、江戸時代、江戸と京の都を結ぶもっとも重要な街道であった中山道が通っており、11の宿場が存在しました。中でも難所の鳥居峠を控えた奈良井宿は「奈良井千軒」とうたわれ、街道を行き交う旅人で栄えました。昭和53年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されたこの宿場は、現在も旅籠の軒灯、千本格子など当時の面影を色濃く残し、一歩足を踏み入れるとまるで江戸時代にタイムスリップしたかのような情景が広がります。そば屋、茶店、酒屋、土産屋、宿屋などと住居が混在し、そこで生活をしている人々の息吹とともに、生きた歴史を感じることができます。木曽路の中でも標高の高い奈良井宿は、自然も豊かで四季折々の風情を楽しむことができます。お近くにお越しの際には、ぜひお立ち寄りください。



Takano
タカノ株式会社

証券コード：7885

タカノ通信 Vol.42



©Snowman Enterprises Ltd. 2016 Licensed by Plazastyle Co., Ltd.

第64期 中間報告書 2016年4月1日から2016年9月30日まで

UD FONT





株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社の第64期第2四半期累計期間の業績ならびに通期の見通しについて、次のとおりご報告させていただきます。

第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀の継続的な金融政策等を背景に、企業収益や雇用・所得環境等の改善により緩やかな回復傾向が続きました。しかしながら、中国を中心とする海外経済の下振れリスク等から、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもとで、当社グループは新たに策定を行った中期経営計画「Innovation 68」の基本方針である「構造改革とプロセス改革を進め、稼ぐ

力を取り戻し、次の成長路線を構築する」の実現を図るべく、計画で定める各施策の前倒し実行と一層の具体化に努めてまいりました。

具体的には、新規コア技術開発、新営業分野に関する製品開発、グローバル販売体制の拡充に注力する一方、引き続き、製造ラインへのロボットの導入等、生産性向上および合理化のための活動を推進してまいりました。

その結果、住生活関連機器および機械・工具の販売が増加したこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,476百万円で、前年同四半期比12百万円(0.1%)とわずかながら増収となりました。

利益面につきましては、合理化等積極的なコストダウン活動の推進による粗利益額の改善等により、営業利益441百万円(前年同四半期比294百万円、200.8%の増益)、経常利益413百万円(前年同四半期比226百万円、121.4%の増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益279百万円(前年同四半期比176百万円、170.4%の増益)となりました。



代表取締役社長
鷹野 準



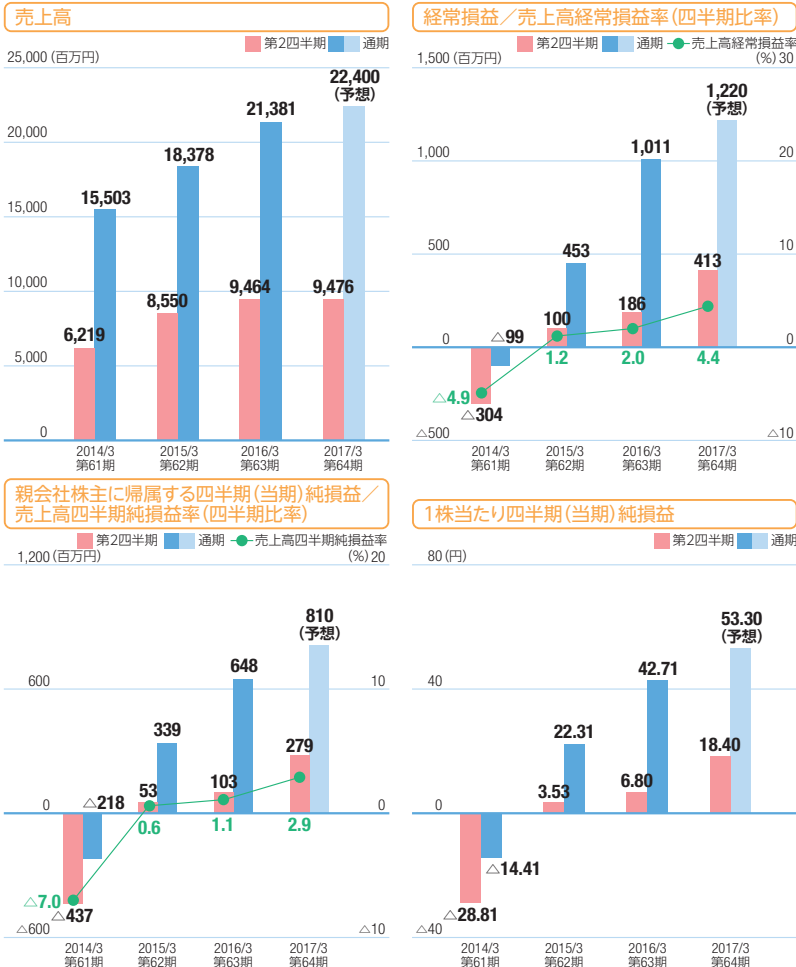
To Our Shareholders

通期の見通し

通期の見通しにつきましては、雇用・所得環境等の改善はあるものの、中国をはじめとするアジア新興国等の景気の下振れリスク等から、景気の先行きはなお不透明な状況にあります。

このようななか、当社グループは、新たに策定を行った中期経営計画「Innovation 68」に定める目標の達成に向けて、重点的かつ積極的な経営資源の投入により施策実行スピードを向上させてまいります。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点で、本年5月9日に公表いたしました予想と変更はなく、右表のとおりとなっております。



通期業績の見通し

	連 結	単 体
売 上 高	22,400百万円 (前期比4.8%増)	19,500百万円 (前期比3.9%増)
経 常 利 益	1,220百万円	1,000百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	810百万円	700百万円



新中期経営計画 「新分野・成長分野開拓」への取り組み

タカノにおける、新中期経営計画「Innovation 68」の重点施策のひとつである「新分野・成長分野開拓」への取り組みについてご説明いたします。

タカノは、製品にライフサイクルがあるように、事業にもライフサイクルがあるとの考えのもと、ばね、オフィス椅子、エクステリア製品、電磁アクチュエータ、検査計測装置、医療福祉機器と時代のニーズを捉え、新たな事業領域に挑戦してまいりました。そして、現在も既存事業のみならず、次の成長路線を構築すべく、新しい分野への事業展開に取り組んでいます。

新中期経営計画「Innovation 68」におきましても、新分野・成長分野開拓への道筋をつけるべく、具体的な計画に沿って新分野・新事業の開拓を推進しています。

具体的には、医療機器関連分野の事業化、海外事業の拡大、センサ関連事業の事業化など、各分野の研究・開発を進めています。

また、当社主力事業のひとつである検査計測装置事業では、AI（人工知能）を活用した検査装置の高機能化、自動車関連業界向けおよび燃料電池部材向け検査装置・半導体関連電子デバイス検査装置の拡大等に向けて、さらなる研究開発を進めています。

次のページでは、以上の取り組みの中の一例として、自動車関連業界等向けの自動検査ニーズに応えるべく開発し販売を開始しました新製品についてご紹介いたします。

■中期経営計画基本方針

「構造改革とプロセス改革を進め、稼ぐ力を取り戻し、次の成長路線を構築する」

■中期経営計画重点施策（抜粋）

「新分野・成長分野開拓の道筋をつける。」

- 医療機器関連分野での積極投資、事業化加速
（診療空間・治療空間向け機器関連、医療関連機器向けパーツ等）
- 海外事業の拡大による事業成長
- センサ関連事業の事業化
（組込型圧力測定センサの拡大（医療・健康・スポーツ・ロボット等向け））
- 半導体関連電子デバイス検査事業の拡大
- AI（人工知能）を活用した検査装置の高度化

3次元検査装置「ZEBBRA」の開発・販売開始

タカノでは、本年7月、新たな分野の製品として、自動車のバンパーや建築部材といった塗装やメッキで表面処理された立体物の傷などを検出する3次元検査装置「ZEBBRA」を発売しました。従来の表面処理された立体物を対象とした画像処理検査は、製品の正常な凹凸等の変形部分を欠陥と誤認識してしまい、本来検出したい欠陥との識別ができないといった問題がありました。そのため、これまでは一般に目視での検査が行われてきました。しかし目視による検査には欠陥品の流出や、検査品質のバラつき等の課題があり、主に自動車業界で検査の自動化ニーズがありました。

タカノではこれらの自動化ニーズに対して、液晶ディスプレイを用いた特殊照明や、独自のアルゴリズムを用いた画像処理を開発し、立体物の表面欠陥を自動で検出する3次元検査装置「ZEBBRA」を開発し、販売を開始しております。またこの秋、南平工場内に「ZEBBRA実験室」が開設されました。ここではお客さまの要望に応えるべく、さらなる新機能の開発を行う実験室等として利用しております。

「ZEBBRA」は対象物を撮像するエリアカメラと検査用照明として利用する液晶ディスプレイ、画像処理エンジンで構成されています。照明用の液晶ディスプレイから発せられるスリット光を検査対象に投影し、スリットを1周期シフトさせながら複数枚の画像を撮像します。撮影された複数枚の画像を合成し、独自の検査アルゴリズムから輝度変化等の特徴点を分析し、傷や異物、凹みといった欠陥を検出する仕組みです。

これからも多岐にわたる事業分野で培ったコア技術を組み合わせ、お客さまが抱えている課題の解決に挑戦し、新分野の製品を積極的に開発してまいります。





エクステリア部門

東京スカイツリー・ソラマチに「リパーロ」設置

本年7月、東京スカイツリー・ソラマチ7Fにある「世界のビール博物館 東京スカイツリータウンソラマチ店」に、当社エクステリア部門の自立型オーニング「リパーロ」が設置されました。

2013年にグッドデザイン賞を受賞したこちらの商品は、大がかりな工事が不要であり、店舗だけでなく、サービスエリア、学校・幼稚園・保育所、レジャー施設など、設置条件に合わせてどのようなスペースにもさまざまな組み合わせで対応できます。また、強い日差しをさえぎる機能性だけでなく、洗練されたスタイリッシュな空間を演出します。

エクステリア部門のコンセプトである「自然とともに生活する」をモットーに、またお客さまのニーズにお応えするべく、今後もより一層積極的な商品展開を図ってまいります。

Close Up

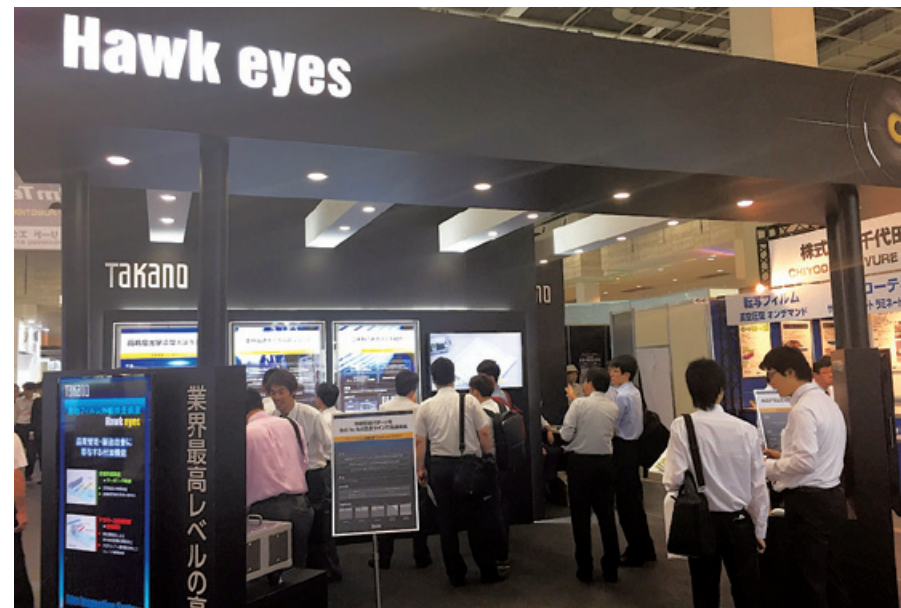


画像計測部門

「第4回【関西】高機能フィルム展」に出展

本年10月5～7日の3日間、インテックス大阪にて「第4回【関西】高機能フィルム展」が開催されました。この展示会は、高機能フィルムの成形・加工技術、フィルムそのものにいたるまで、あらゆるフィルム技術の専門展であり、当社からは、欠陥に対し高精度な検査を行う「インラインフィルム検査装置」、曲面を持つ立体物でも検査可能な新製品「ZEBBRA」などを出展しました。タカノブースには多くのお客さまが来場され、技術的な課題や次世代開発テーマについてのお話し合いをすることができました。また、すぐに導入したいというありがたいご意見とともに今後の開発の課題となるご意見も頂戴しました。今後もお客さまの貴重なご意見をかたちにすべく、積極的な製品開発に努めてまいります。

Close Up

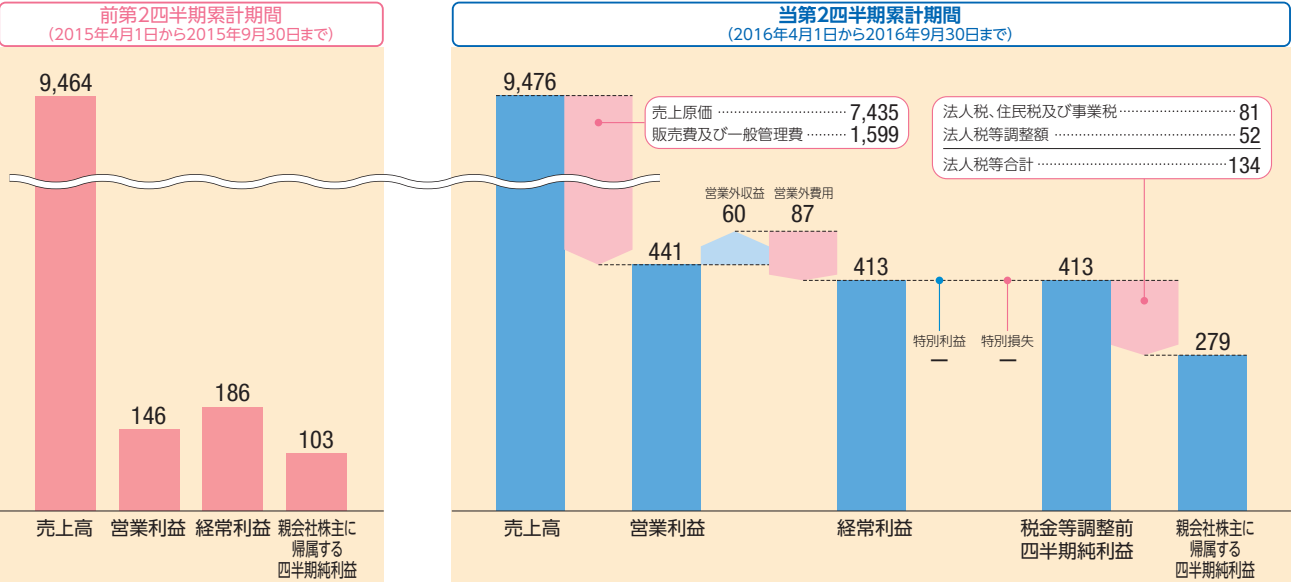




四半期連結決算概要(要旨)

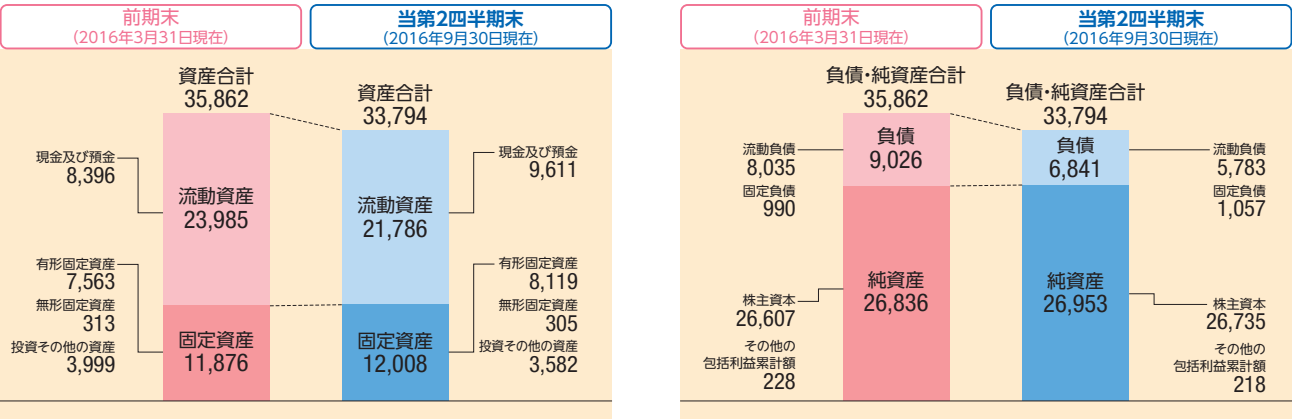
連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



連結貸借対照表の概要

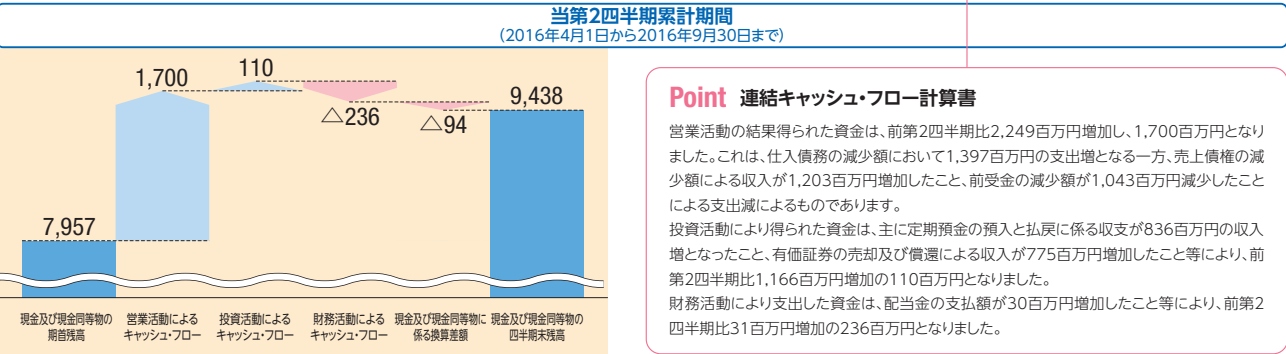
(単位：百万円)



Consolidated Financial Statements

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

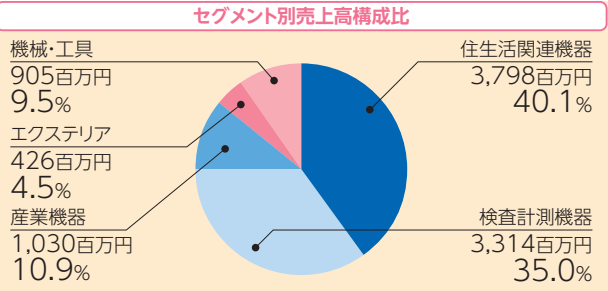
(単位：百万円)



セグメント別概況

(単位：百万円)

	売上高(外部顧客への売上高)			セグメント損益		
	前第2四半期	当第2四半期	増減率	前第2四半期	当第2四半期	増減率
住生活関連機器	3,737	3,798	1.6%	△46	△16	－%
検査計測機器	3,537	3,314	△6.3%	74	253	238.2%
産業機器	1,055	1,030	△2.3%	86	150	74.6%
エクステリア	460	426	△7.4%	△22	△10	－%
機械・工具	673	905	34.5%	59	49	△17.4%
セグメント間取引消去	－	－	－%	△5	14	－%
合 計	9,464	9,476	0.1%	146	441	200.8%





会社データ (2016年9月30日現在)

Corporate Profile

会社概要

商 号 タカノ株式会社
本社所在地 長野県上伊那郡宮田村137
創 業 1941年7月1日
設 立 1953年7月18日
資 本 金 20億1,590万円
事 業 内 容 事務用椅子、その他椅子等のオフィス家具、ばね、エクステリア製品、エレクトロニクス関連製品、医療・健康福祉機器の製造ならびに販売
従 業 員 数 442名
上場取引所 東京証券取引所市場第一部

グループ会社

- 株式会社ニッコー
住 所 長野県上伊那郡宮田村
事業内容 工具・器具機械等の仕入販売
資 本 金 90百万円
- タカノ機械株式会社
住 所 長野県上伊那郡宮田村
事業内容 省力化機械の製造販売
資 本 金 50百万円
- 台湾鷹野股份有限公司
住 所 中華民国台中市
事業内容 検査装置の保守サービス
資 本 金 20百万新台幣元
- 上海鷹野商貿有限公司
住 所 中華人民共和国上海市
事業内容 オフィス椅子等の仕入販売
資 本 金 50万米ドル
- 香港鷹野国際有限公司
住 所 中華人民共和国香港特别行政区
事業内容 エレクトロニクス製品および製品にかかる部品等の仕入・販売(輸出入)
資 本 金 1百万香港ドル

※上記グループ会社はすべて出資比率100%の子会社です。

役 員

代表取締役社長 鷹 野 準
専 務 取 締 役 鷹 野 力
常 務 取 締 役 小田切 章
常 務 取 締 役 大 原 明 夫
取 締 役 久留島 馨
取 締 役 臼 井 俊 行
取 締 役 玉 木 昭 男
取 締 役 下 島 久 志
取 締 役 (非 常 勤) 黒 田 章 裕
取 締 役 (非 常 勤) 嘉 戸 廣 之
取 締 役 (監 査 等 委 員) 戸 枝 茂 夫
社 外 取 締 役 (監 査 等 委 員) 長谷川 洋 二
社 外 取 締 役 (監 査 等 委 員) 小 澤 輝 彦

ホームページのご紹介

タカノでは、株主・投資家のみなさまへのタイムリーな情報提供および双方向の情報交換を目的に、ホームページに会社情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



<http://www.takano-net.co.jp>

インフォメーション

株主優待制度のご案内

2016年度の株主優待は、2016年9月30日現在の株主のみなさまを対象として、1,000株以上所有の株主のみなさまへは下記の6点の商品のなかから1点お選びいただき贈呈いたします。本年度の株主優待においては、商品の一部リニューアルいたしました。新しい信州の味をお楽しみください。なお、商品は12月中旬*までに発送する予定です。100株以上1,000株未満所有の株主のみなさまへは、12月上旬に当社で販売している「高嶺ルビー」はちみつラスクセット」をお送りいたします。

※「旬の時期」にお送りするため「りんご」「山いも」は発送時期が前後することがございます。



株式の状況 (2016年9月30日現在)

Stock Information

●株式・株主の総数

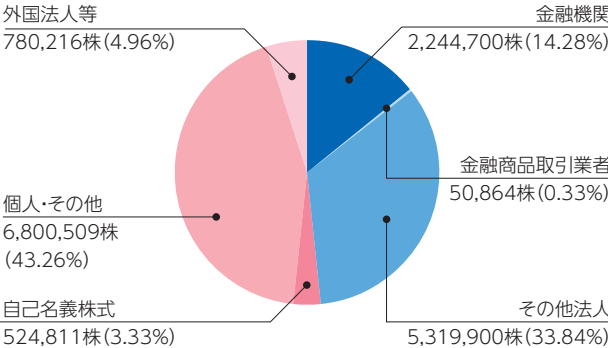
発行可能株式総数 50,000,000株
発行済株式総数 15,721,000株
株主数 7,066名

●大株主

株主名	持株数	持株比率
コクヨ株式会社	2,151,500株	13.68%
堀井 朝運	1,487,400株	9.46%
日本発条株式会社	1,151,500株	7.32%
みずほ信託銀行株式会社	1,000,000株	6.36%
株式会社鷹山	955,700株	6.07%
タカノ株式会社	524,811株	3.33%
鷹野 準	428,100株	2.72%
鷹野 力	414,900株	2.63%
一般財団法人鷹野学術振興財団	330,000株	2.09%
株式会社八十二銀行	283,900株	1.80%

(注) みずほ信託銀行株式会社の所有株式数は、すべて日本発条株式会社の信託財産であります。

●所有者別株式の分布状況



●株価の推移

